

大 船 山

令和 2 年 8 月 3 日

ホームページアドレス <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

長かった梅雨がようやく明け、夏本番の日差しが見られるようになってきました。新型コロナウイルス感染症は、連日全国で 1000～1500 人の新規感染者が報告されています。岐阜県でも 20 人程度の感染者が報告され、7 月 31 日に「第 2 波 非常事態」が宣言されました。新型コロナウイルス感染症対策と合わせて、熱中症に対しての対策も本格的にしていかななくてはならない時期となりました。夏休み前の終業式まであと 5 日間。暑さとの戦いになりそうですが、2 ヶ月余りの登校期間を気持ちよく締めくくることができるように、もう一息頑張っていきましょう。



2020. 7. 31 ペッパーくん登場！

臨時休校中の検証アンケートの結果より

3 月からの 3 ヶ月間の臨時休校中の対応についての検証アンケートの結果がまとまりましたので、誌面の関係で要点をまとめて報告させていただきます。

1 利用状況 (よく利用した人数と何度か利用した人数を合わせた人数)

学校メールを利用した連絡が 65 人、学校のホームページを活用した連絡が 62 人、担任の DVD を用いた学習が 46 人という順でした。メールやホームページが主要な連絡手段となっていました。

2 効果があったもの

学校のホームページによる学習の指示が 50 人、担任の DVD を用いた学習が 47 人、市教委の動画を学んだ学習が 27 人という順でした。具体的で明確な指示が必要であったようです。

3 頼りにしていたもの(「最も頼りにしていた」人数は 2 倍にしてポイント計算)

学校のホームページが 70 ポイント、学校メールによる連絡が 66 ポイント、週 1 回の家庭巡回が 57 ポイントという順でした。利用状況の高いものが頼りにされていたことがわかりました。

4 ICT の環境

子どもが自由に使える情報機器があるのが 84% (いつも : 61% 使える時がある : 23%) で、無線 LAN 環境がある家庭が 81% でした。また、子どもが一人で情報機器を操作できるとの回答が 52% でした。定額制で通信料金は気にしなくてもよい家庭は 74% ですが、反面、ネットからの情報が十分に得られない家庭も 9% あります。今回活用したものが、子どもが所有する情報機器 (スマホ・タブレット・パソコン) である子が 26% で、保護者のスマホを利用していたのが 45% でした。これらの ICT の環境を踏まえて、これからの計画を立てていくことになります。

5 今後気になること

個人情報の流出 (セキュリティー) が 41% でトップ、ネット依存と機器を使いこなせるかの不安が 30%、機器を壊してしまわないか、確実につながるかという機器の調整の問題が 29% で続いていました。今後、これらの部分への対応も考えていかななくてはなりません。

6 ご意見

オンライン授業を要望する声が複数ありました。実際に実施するとなると、親の補助がなく低学年の子どもに扱えるかどうか、スマホだと画面が小さくて見にくいということ、また、通信料が心配だという意見もありました。実施に際しては、質問などができる双方向性が必要であり、今後の 1 人 1 台のタブレット配付を視野に入れながら、具体的に対応策を考えていきたいと思います。